



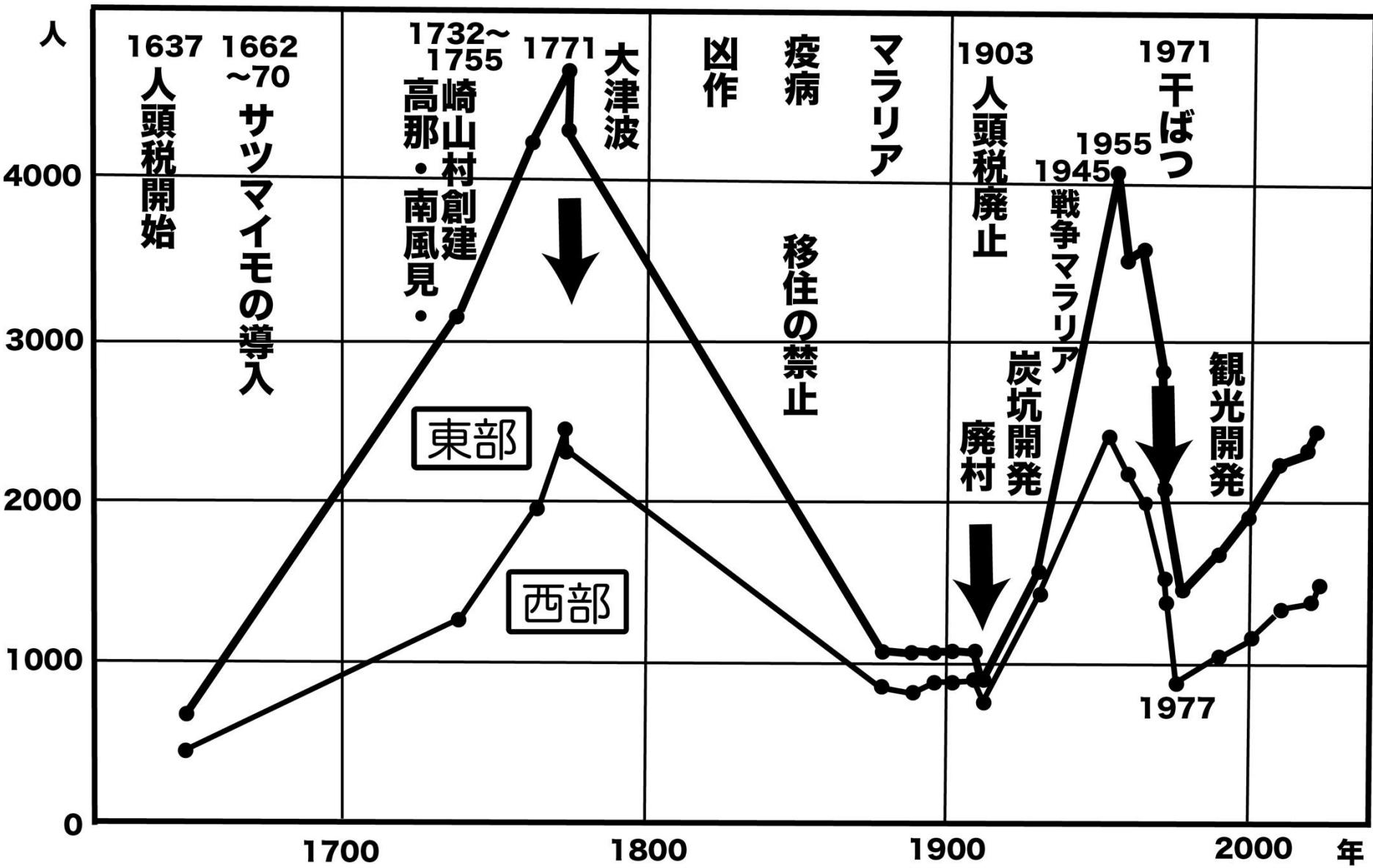
西表島の地域づ
くりのリーダー石
垣金星氏とともに
歩んだ50年

安渓遊地+安渓貴子
(Ankei Yuji+Takako)

昔炭鉱、い
ま観光。
人口が増え
ても文化を
失えば地域
は滅びる。

(c)仲程長治

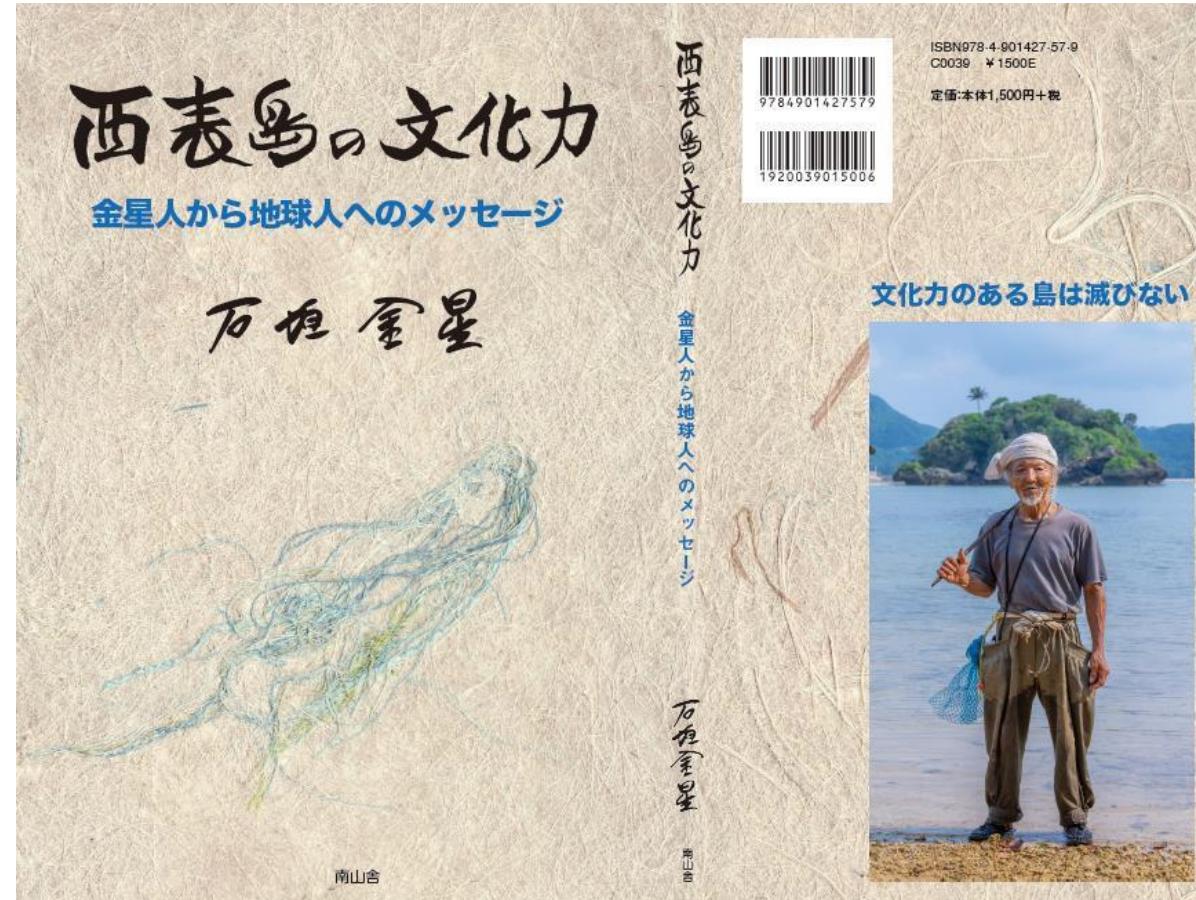
↓ 西表島の3度の人口危機 (c) Ankei Yuji



「文化力のある島は滅びない」

西表島の島おこしリーダー石垣金星(Ishigaki Kinsei) 1946-2022

1893年、探検家・笹森儀助(Sasamori Gisuke)は、八重山の島々をめぐって、人頭税の重圧とマラリアのために、数十年たたずみに、18の集落が廃村になるだろうと予測した。ただひとつ、その予測が外れた、幸運な例外が、西表島の干立村だった。



干立村ゆいぴとう憲章 制定の奇跡



竹富町長に憲章を手渡す伊谷・公民館長
2025年4月11日

1. 6年にわたって、会合のたびに午前1時2時まで会議をしてまとめあげた。
2. 40代の若い世代が公民館運営の中心になっている。
3. そのほとんどは、移住者の一世(第一世代)。

島ことばが話せて、芸能もでき、自然とともに生きる技も身につけたメンバー(竹富町議員)は、大阪からの移住者の二世。



子どもたちに舟こぎを教える

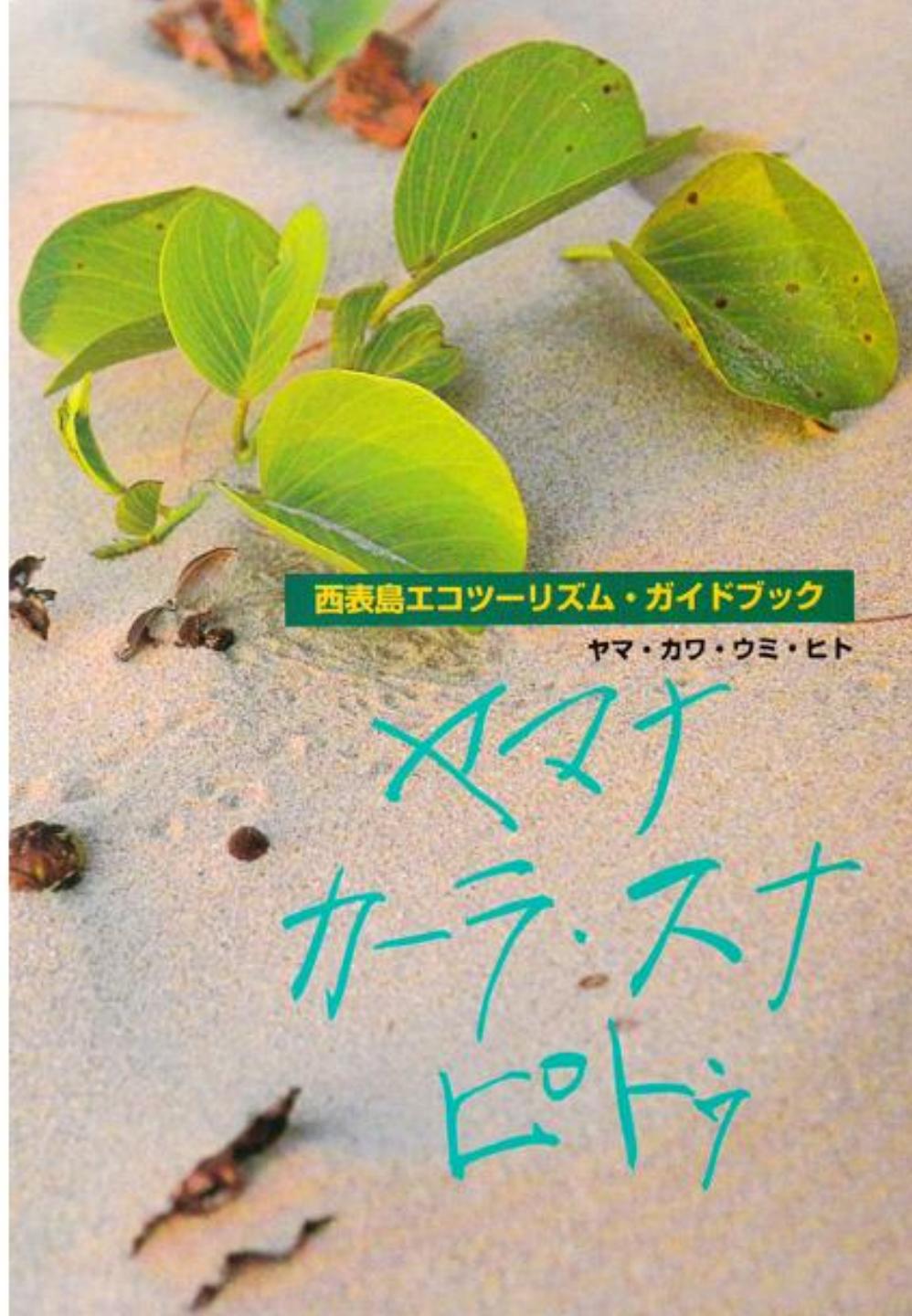
金星人のことば(映画・生生流転 <https://www.us4iriomote.org/movie>)

西表に「自然保護」という言葉はもともとないわけよ。自然な恵みを減らさないように、どうすればいいのか。その答えは30年先に出てくる。**伝統というものは、その自然の恵みを減らさないようにする知恵のことである**わけよ。(神様への)まつりごとも行事もすべてそう。

人間もこの自然の中で生きている生き物のただひとつにしかすぎない。ということを西表に来たら、いやがおうでも感じないといけない。

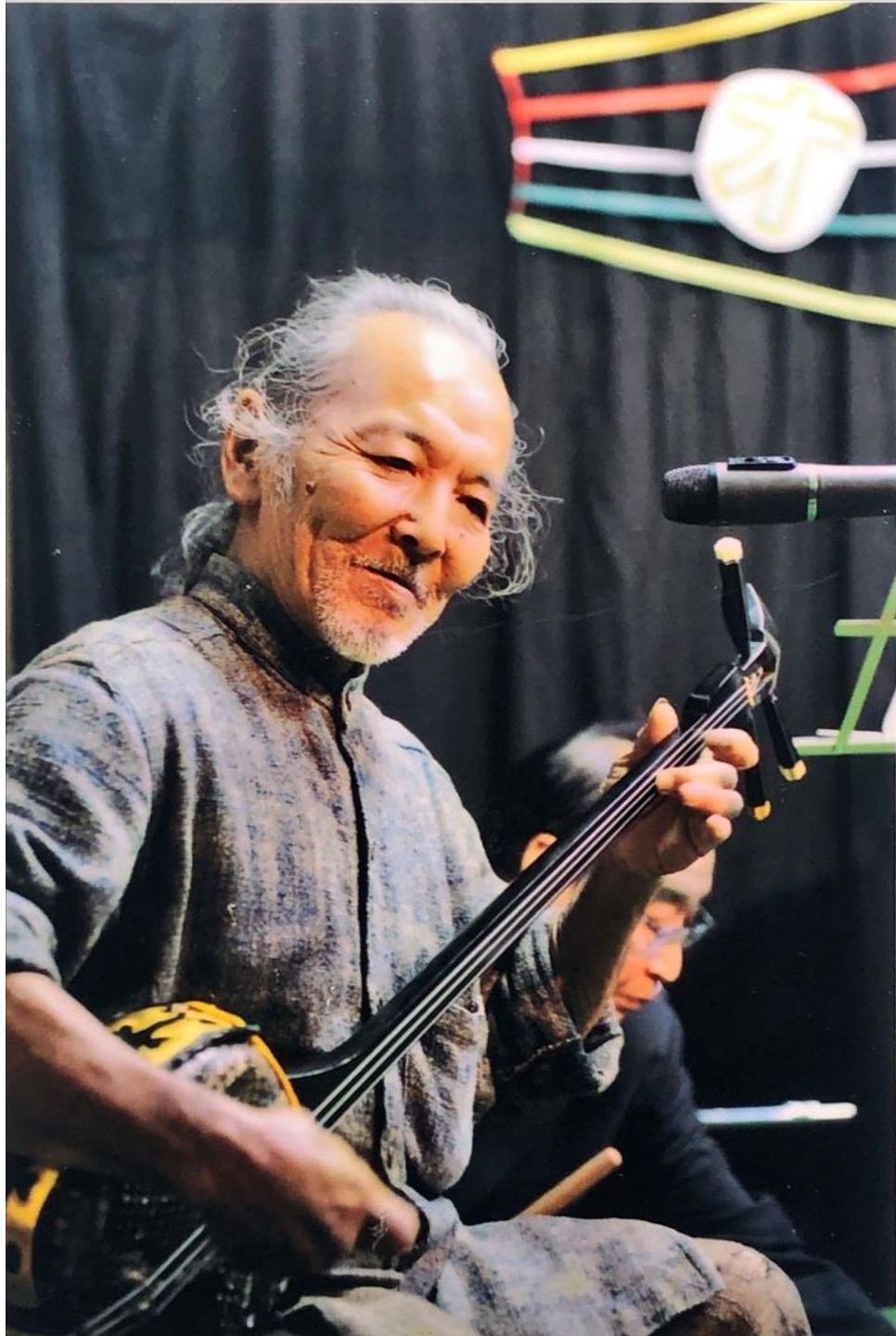
日本初・西表島エコツーリズム協会立ち上げ

ネイチャーエコツーリズムがエコツーリズムだと思っている人もいますが、本当は自分たちで自分たちの地域をつくっていく運動が、たまたまエコツーリズムと呼ばれるだけでしょう。エコツーリズムは地域の自然と、その自然から生まれた文化をつくりあげていく、いわば文化運動なんですよ。その文化は自然を活用し、工芸や芸能であったりするけれど、それを自慢する行動を総称してエコツーリズムというんです。

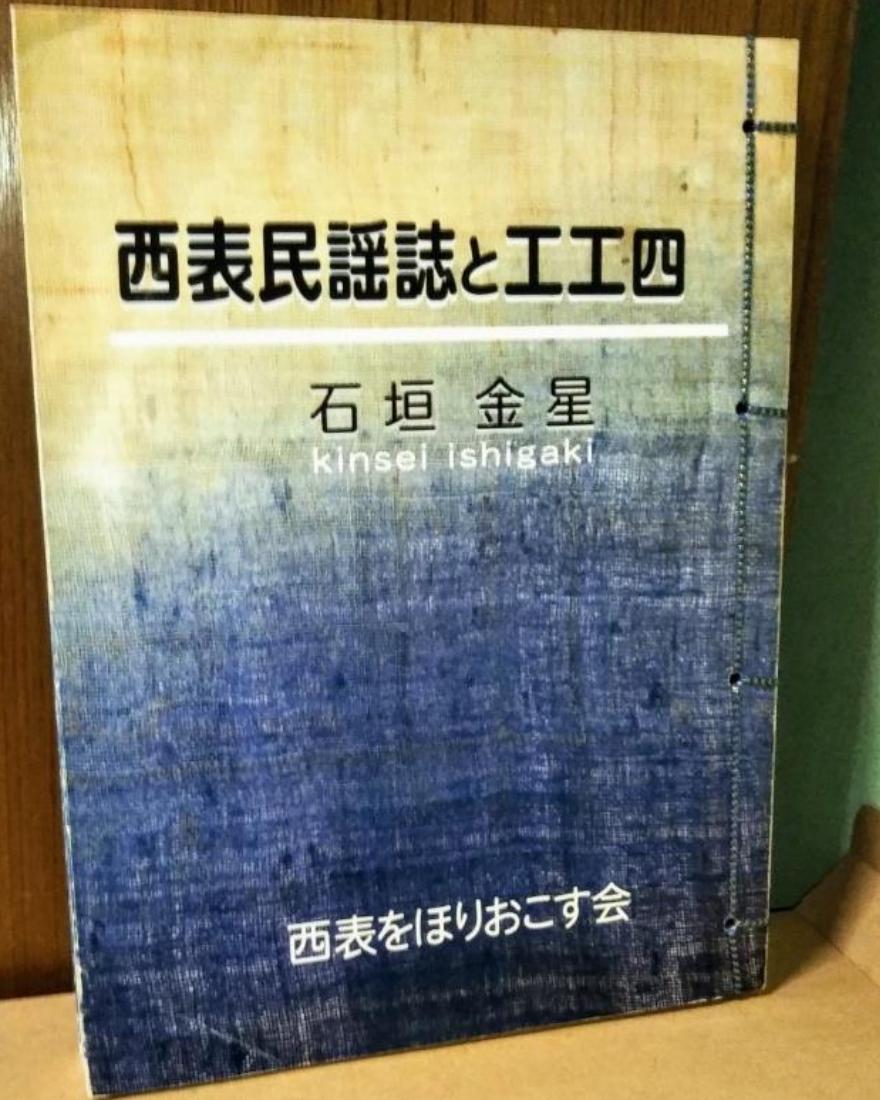


1994年発行

西表エコ
ツーリズム
センターで
お買い求め
になれます。



古い伝承を繰り返しているだけでは、伝統はやせほそってしまう。
日々あらたな創造を重ねるのが、あるべき地域の「健康」な姿



2006年発行

歌サンシンの楽譜
工工四(くんくんしー)

まちがった歌い方でも、
楽譜に書かれるとそれが
「正しいもの」になってしま
う。

石垣島や首里那覇の文
化による西表文化の抹殺
(文化的ジェノサイド)への
抵抗運動の成果。まとめ
るのに38年かかった。

西表島の地名を記録し、守る

2020「西表島の生物文化と地名データベース」

<https://aiiriomote.wixsite.com/mysite>

西表島の地名 Place na... ≡ 🔍 ⋮

葉)による地図です。700地点の地名とその由来を示します。まだ表示していないものを表示回数 4,993 回
公開: 2019年10月18日

共有

1_岩・島・洞

すべてのアイテム

2_川・滝・海・浜・瀬・津口

すべてのアイテム

3_村・橋・井・道・史・炭・字

すべてのアイテム

4_聖

すべてのアイテム

5_田

すべてのアイテム

6_畑・牧・野

Google MyMaps

地図データ ©2025 利用規約 2 km

バナリ島観光 キーボードショートカット

ヤマネコの島 =まるで無人 島あつかい

「文化力のある島は滅びない」
(石垣金星『西表島の文化力』)

- ・廃村も含め島中につけられた1400の地名をデータベース化
- ・アイヌ民族や台湾原住民族の地名を取り戻す抵抗運動と呼応
- ・抵抗地名(共産党時代に4度も地名が変わった場所を、「政治的失敗大通り」と呼ぶプラハ市民の例)

Ptáčníková Martina, A journey through a collective memory of a city. Non-standardized urban toponymy as a means of silent resistance and collective humour during the Communist era in Czechoslovakia // *Коммуникативные исследования*. 2019. №1.



1977年 干立(当時は星立)

微小地名=文化と自然の歴史の証人

西表島西部仲良川の支流 トウイミヤーパラカーラ(豊見親柱川) 15世紀に宮古島の首長の豊見親(とよみおや)の強制的命令で柱材を切り出した川。関連地名多し。

<https://ankei.jp/yuji/?n=91>

廃村網取(あんとうり)の水田に残る

(おそらく1771年の)津波地名

アハナーマシ

(バラフエダイという魚が入った田)

フクリピヤーマシ

(モンガラカワハギという魚が入った田)

エハダア

(イカが入った小さな田)



(c) HEYANEKOの棲み家

「昔炭鉱 今観光」=勝手に命名するな

仲良川支流 一番川 二番川 ↓ゴリラ岩 月ヶ浜

<https://4travel.jp/travelogue/11666531>



母音音素数＝3・5・6・7の八重山方言 複数の自称と他称が交錯する島名

西表島(西部)の自称は イリムティ

竹富島の 自称は テードウン

与那国島の自称は ドゥナン

西表島から 与那国島を ユノーン

西表島から 竹富島を タキドウン

竹富島から 西表島を シューヌン

(シムヌフン=下の国 の転訛)

南岸中央の南風岸岳(はいぎしだけ)

西部からは パイキシダキ 東部からは イーシウダヒ



竹富島の上勢頭亨さんに習う

Dunaj(スロベニア)=Wean(奥地)=Wien(独)=Vienna(英)=Vienne(仏)

Perko, D., Jordan, P., Komac, B. 2017: Exonyms and other geographical names. *Acta Geographica Slovenica* 57–1.

<https://doi.org/10.3986/AGS.4891>

「ウ離」→アウ離

公式の国土地理院地図の誤り



地元ではアウ/アウバナリ/アウジマと呼ぶ。青離島が語源か。近くに赤離島(あかばなりしま)がある。

100年以上前に、印刷のまちがいで、「ア」の文字が消えたために、それが正式名称になってしまった。



月ヶ浜 →
Tsukigahama Beach

1972年沖縄の日本復帰直後のこと、島外企業がウナリ崎リゾート施設を作った。その時リゾート企業は特別な聖地「ウナリ崎御嶽（ウガン、神社に相当）」を重機により破壊して自分の別荘を建てた。そして真向かいの美しい砂浜を「月ヶ浜」と勝手な名前をつけたもので、西表の歴史と文化を冒涜するものだった。石垣金星さんが運動して、道路標識を由緒ある「トウドマリの浜」に訂正させるのに30年かかった。ところが台風で標識が壊れたら、もとの観光地名が復活してしまった！

民衆の科学としての地名記録へ

Perdana, A., & Ostermann, F. (2018). A Citizen Science Approach for Collecting Toponyms. *ISPRS International Journal of Geo-Information*, 7(6), 222.

<https://doi.org/10.3390/ijgi7060222>

NO	NAMA LURAH	LURAH KECAMATAN	KODE POS	JENIS JALAN	LENGKAP	RENCANA	KODERAWA	DESA	KECAMATAN		KEBERADAAN	HARGA
									DESA	KELURAHAN		
10	PT	PT	16	PT	PT	PT	PT	PT	PT	PT	PT	
11	Ung	Ung (Banting Kul)	208	Aspal Pengaspalan dengan Batu	Open	PT	PT	PT	PT	PT	PT	
12	Pase	PT (Banting Besar)	20811	Batas, Pagar dan Lantai Beton	Open	PT	PT	PT	PT	PT	PT	
13	Pase	PT (Banting Besar)	20811	Batas, Pagar dan Lantai Beton	Open	PT	PT	PT	PT	PT	PT	



インドネシア
Lombok島での
地名収集のよ
うす。
地名リストを村
長と伝統首長
が確認し、公印
を押して、GPS
をもちいて現地
で現場を確認し
て地図に落とし
ていく。

未来へむけて「歴史を実践」するために
西表島を掘り・起こしつづけた、石垣金星さん
(西表をほりおこす会)に学ぶこと

「ほる」=過去と現在をつなげること
「おこす」=現在を未来につなぐこと

0. ここが世界の中心。交流と情報発信を
1. 地域を「ほる」と「おこす」のバランス
2. 住民と地域研究者が手を結ぶ
3. 伝統に学んで芸能と祭りと村を再創造

<https://ankei.jp>